



石川ひろのり事務所 〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

県議会控室 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎7階
TEL 045-210-7650 FAX 045-210-8911

<http://www.hiro-ishikawa.jp/> 石川ひろのり



コロナ禍における外国人観光客誘致事業について 経済・環境対策特別委員会にて質疑

県議会で所属する経済・環境対策特別委員会にて、令和3年度の決算額、令和4年度予算額いずれも約1億円が計上されたコロナ禍における外国人観光客誘致事業についてなど質疑を行いました。

外国語観光情報ウェブサイト運営管理について

石川】外国人観光客誘致事業として、外国語観光情報ウェブサイト「Tokyo Day Trip」を運用し、事業は委託をしている。その目的は外国人の誘客促進としているが、このウェブサイトをきっかけとした来県リサーチはどのようになっているのか。

観光プロモーション担当課長】現時点では、どれだけの人がホームページを見るかを目標としており、120万ページビューを一つの目標としている。それを見て何人来たか、データは取れていない。

石川】この点はコロナ前から指摘をしている。ウェブサイトを作って終わりではない。実際に神奈川県にどれだけの人がいらして頂いたのか。これが目的だということ指摘しておく。その上で、ウェブサイトの多言語化を進めている。今回新しくスペイン語が公開されたが、内容のチェック体制はどのようになっているのか。

観光プロモーション担当課長】観光課にスペイン語を確認できる者はいない。委託契約の契約上、適正履行を求めて業務の実施を委託している。委託業者からスペイン語の翻訳が終了した旨の報告を受け了解としている。

石川】チェック体制がないことは問題と考える。終了の報告で「よし」とするのではなく、県庁内には国際文化を所管する課もある。課を超えた連携を図りチェックをする仕組みの構築を要望する。

モデルコース掲載内容について

石川】観光振興計画の中で、1,000通りのモデルコースを更新するという記載がある。私は、これまでも繰り返し1,000本という数字ではなく、モデルコースの質が大事だと申し上げてきた。12月現在、ウェブサイトには872本の掲載しかない。現在の基準はどうなっているのか。方向性を伺う。

観光プロモーション担当課長】ご指摘のとおり872本である。加えて、民間の旅行商品も283本掲載しており、合計1,155本のコースを掲載している。



石川】旅行会社のモデルコースが283本もあるのであれば、民間でできることは民間に任せればよいのではないかと。繰り返すが、1,000本という基準はこれからどうしていくのか。

観光プロモーション担当課長】モデルコースの作成を開始して以来、5年以上経過している。様々なご意見もいただいております。1,000本という本数よりも、内容の確認、見直しを行っていきたいと考えている。

オーバーツーリズム対策について

石川】コロナ前にはオーバーツーリズムという問題があった。例えば鎌倉の地域では、江ノ電に観光客が多く乗車し、普段利用されている地元の方が電車に乗れないという状況があった。実際にアニメの聖地となっている鎌倉高校前の踏切は、外国人観光客が集まることにより、地域では生活に支障が出ている。観光客を誘致していくことは重要である。一方で、コロナ前の課題であったオーバーツーリズムについてこれまでどのような対応を検討されてきたのか。

観光戦略担当課長】鎌倉高校前の踏切については、情報を共有し課題として考えていく擦り合わせはできている。また、箱根の渋滞の問題や地域の中でご相談があった点については、自治体、業者の方々を含め進めてきた。オーバーツーリズムと環境をどのように守っていくのか、地域の方のご意見を伺い、状況を把握しながら関係部局等を含めて進めていく。

石川】振興計画には、オーバーツーリズム対策については具体的なものは全く記載がない。今回、鎌倉高校前を事例で挙げたが、今も地域の方が困っており、今後、観光客が増えるとさらに地域に迷惑がかかる。対応を早急に求める。

